

「相互扶助と集団意識の醸成」

北労生会員の活動紹介

U A ゼンセンホームマックユニオン

(〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央 3 条 14 丁 TEL011-892-0217)

ホームマックユニオンは、石黒ホームユニオンとメイク労働組合が 1994 年に統合し、誕生いたしました。設立時より正社員・短時間労働者を組合員とし、196 支部 組合員約 6500 人を組織しています。

労使ともに「住生活に係る暮らしに役立つ価値」を提供できる企業を目指し、企業の生産性向上と組合員の暮らしの質の向上に取り組んでいます。しかし、評価制度および役割等級が進むと個人の成果により処遇され、組織として集団の力を発揮し続けることができるかが問われるのではないかと考えております。

多店舗展開かつ広範囲に支部を抱える私どもは 組合活動、すなわち集団意識に関心を持った活動に、いかに参加してもらうことができるか考える必要があります。

今年度は、育児・介護・定年に向けたライフサイクルを念頭に、「介護」と「なぜ私たちは働くのか」を北海道・東北・関東の三会場にてセミナーを開催いたしました。

普段職場では考える機会がないだけに、「考える機会になった、イメージが少し変わった」との声を聞くことができました。一人一人が安心して仕事に向かえる環境への取り組みとして、今後も組合員の相互扶助・集団意識の醸成の一役を担える活動に取り組んでいきたいと考えております。